

東郷町は昨年十二月二十四日、今月六日のうちの六日間、冬休み中の町内三中学校を開放し、生徒に大学生が勉強を教える「冬の学習支援教室」を行っている。受験を控える三年生を中心に各校約五十人が事前申し込みをし、それぞれ希望日に参加している。

同町は、大学生から教わることで勉強の楽しさを再発見してもらおうと、同教室を二〇二〇年八月に初開催。夏と冬休み中に実施している。四回目となる今回は、愛知教育大など近隣四大学の学生十人が「学習サポ―

中3受験生ら 大学生がサポート

東郷 町内3校開放し「教室」



中学生たちに大学生生活について講話をする大学生＝東郷町の春木中で

ター」となり、それぞれの中学で約三時間勉強をサポート。学

生たちが、高校受験時の勉強方法や大学生活を伝える講話の時間もあった。

春木中では四日、十二人が参加。三年の西垣璃央さん（モ）は「家では集中できないが、学校だと気が散らないので勉強がはかどる」と話した。名古屋大二年の学習サポ―ター三ツ矢泰輔さん（ニ）は「中学生の数学は意外と難しい。他人に教えるのは初めてだが、いい経験になる」、同大二年鈴木千晴さん（ニ）は「説明して納得してくれるとうれしい」とやりがいを感じた様子だった。（平木友見子）